



東京都本部
「不屈」No.573付録

東京版No.474

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-7-8
労音お茶の水ビル1F
電話 03(6240)0283
FAX 03(6240)0284
振替 00100-5-99628
E-Mail tokyo-chian@bz04.plala.or.jp

2. 28区議団とともに抗議行動に立ち上がる仲間（荒川区町屋駅頭；写真は風間秀子）

NATOをめぐり対立していたウクライナとロシアは、2月24日にロシア軍が国境を越えてウクライナに侵攻し核兵器で威嚇。世界が一気に緊迫しています。国賠中央本部は侵略したロシアを糾弾した「声明」を2月28日に発表しました（中央版「不屈」3月号）。ロシア軍の撤退をもとめ、「戦争反対」の国際世論の力で戦争を終結させるために、各地で草の根運動を広げましょう！

ロシアはウクライナへの軍事侵攻をただちに中止せよ 世界の反戦の声と連帯し、声をあげていこう

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。
二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認める
こと。

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

会長 吉田 万三

2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始しました。いかなる口実をもつてしても、外交的解決を求める国際世論を無視した今回の行動は、国連憲章と国際法に明らかに違反しており、私たちは断固糾弾するとともに軍事行動の即時中止とウクライナからの撤退を求めるものです。さらに核の使用までもらつかせるブーチン大統領の姿勢はきわめて危険で許しがたいものであり、重ねて抗議するものです。

その背景には、大国間の勢力争いがあることも多くの人が指摘しています。東西冷戦終後、NATOという軍事同盟はそのまま残り、消滅した旧ソ連はいくつかに分離独立はしたが、その中心部分のロシアは、すっかり衣替えして、玄関に立っていたロシア革命以来の錦の御旗は降ろされ、単なる普通の軍事大国になりました。

私たちには長い間に染みこまされた冷戦的思考からなかなか抜け出せず、いまだに「日米安保という軍事同盟によって日本は守られている」となんとなく思っている人もたくさんいますが、いまや仮想敵を前提にした軍事同盟の時代ではないのです。むしろかえって戦争に巻き込まれる危険な乗り物と言えます。

現在、世界中で反戦の声があがり、ロシア国内でも次々と「戦争やめろ」「ブーチンやめろ」の抗議行動が起きています。ロシアに対する経済制裁も進められていますが、戦争を止めるもつとも確実な道は市民社会の声です。

またロシアからは、激しい弾圧も伝えられています。自国の勢力圏という思想による軍事侵攻と国内における激しい弾圧は、戦前の大日本帝国による満州への侵略開始と国内における治安維持法と特高警察による暴力的言論弾圧を想起させるものです。戦争と言論弾圧は必ずセットになっているのです。

私たちは、こうした事態に便乗し、口実にした9条改憲の策動に断固反対し、世界の人々と連帯して反戦の声をあげていこうではありませんか。

全国大会・都45周年めざし1300人目標達成を 「特別期間」「千代子上映運動」を全支部、全会員参加で成功させよう

2022年2月16日 第9回理事会

「特別期間」(3~4月)目標、会員50人、署名2万筆を「千代子」上映運動と結びつけ、全支部・会員の力で達成しましょう。

★第45回都本部大会9月19日、10時半~16時に変更(午前・45周年記念講演、午後・大会)。★中央本部第40回大会6月12~13日。

会員拡大

全支部・理事事が目標をもち取り組みましょう。計画立案支部は、世田谷、板橋、荒川、八王子の4支部。会員目標14人。

45周年に向けて必ず5支部を建設する。体制の弱くなつた支部の強化をめざす。

支部建設の推進

葛飾支部体制は3月19日に臨時支部総会を開催し確立予定。江戸川支部の松井さんが亡くなり、体制確立に取り組む。品川、渋谷での支部建設を準備中。

★支部活動中心に45周年にむけて、飛躍をかちとりましょう。

国会請願

2月到達は、個人4859筆。団体77、目標達成支部は豊島支部。14%と遅れています。団体要請は、それぞれの900分会・支部に送りました。漫画「伊藤千代子の青春」は180冊を普及。「不屈」の折込み署名が44人から国賛請願437筆、改憲40筆返送あり。

決算月を迎え、今年度の締めです

会費納入と年末募金の100%達成をめざそう

2月の財政到達は、会費は78%、年末募金31・5%と遅れています。未納者に声をかけ、全支部で年度末100%目標達成をめざしましょう。

会費では、100%超過4支部、80%4支部、50%以下3支部。年末募金100%2支部。50%以上5支

達。準備ができる支部は早急に債権を購入して下さい。

ア系住民の命を守るため、ウクライナの軍事基地、イ

ンフラのみを攻撃と言つて

いますが、その手はヒトラーも、東条も、正義の戦争と

映実行委員会で千代子の学習会を作ります。各支部で上映運動実行委員会を作ります。国民救援会、民青、新婦人、年金者組合などに呼びかける。



ブーチンは、自國とロシ

ア系住民の命を守るため、ウクライナの軍事基地、イ

ンフラのみを攻撃と言つて

いますが、その手はヒトラーも、東条も、正義の戦争と

言つて使つています。結果

は、多くの罪のない人々の死と不幸、自然と文化遺産の破壊です▼

ソ連崩壊後、アメリカとロシアの間で、「NATOを旧東欧諸国に拡大しない」という暗黙の約束があったと言われます。ブーチンはウク

ライナのNATO加盟は、自國の防衛上絶対に認められないと今回の侵略の理由としています▼

NATOとは1949年、米国や英國、フランスなどで設立した国際軍事機関で、加盟国が武力攻撃を受けた場合、全加盟国に対する攻撃とみなす集団的自衛権を行使するもの。同様に日米安保条約をはじめ、

軍事同盟は戦争のもととなります。世界の全ての国々にあって、それが守られれば他国への侵略がなくなり、戦争がなくなるのです。

世界へ9条を拡げよう。そして、今進めている「憲法改悪を許さない全

国署名」を拡めましょう。

■会議日程 ■
▼第10回理事会
3月16日(水)
3月23日(水)



*いずれも
13時半開会

会場は

文京区男女平等センター



1月29日 多喜一祭実行委員会
2月9日 三役会議

2月12日 渋谷支部再建の相談
2月16日 理事会

2月19日 多喜一祭実行委員会
2月23日 松井久雄さん葬儀



荒川上映会（4月30日）プレ企画 「藤田さんに聞く千代子の時代」

荒川支部 風間秀子

12月に実行委員会を立ち上げました。年末の忙しさの中で進まず1月17日に会場を決めた時点からチケット作りをして、プレ企画として原作者の藤田さんに伊藤千代子の時代はどんなであつたのかを話してもらうことと決めました。

地域の10団体ほどにチラシとチケットを配り協力を求めて歩きました。年度末で「確定申告もあり、チラシを作ることはできても十分な協力は難しい」という声もありました。講演会で弾みをつけ呼びかけ人を募集して、新しいチラシを作ることにしました。

会場は荒川民

西日本編
掲載での紙上活動交流
17



4月30日(土) ムーフ町屋 3Fホール

第1回 10:30 第2回 13:30

13:30から13時30分まで2回10回座間の時間に実行する3回シートのプロセスで映画館で観てください。料金は1回100円です。(映画館にて購入)「お問い合わせ」03-3947-0141

「お問い合わせ」03-3947-0141

上映は14時

「わが青春つきるとも」制作・上映協力荒川実行委員会

主商工会の会議室を借り、2月26日に開催しました。前日までに参加の確認が取れていたのは10数人でしたが、折込チラシだけでなく事前にDVDも見て複数の参加を決めていたところもあり、想定以上の26人の参加でした。藤田さんの話は本当に気迫があり、熱気には包まれました。その場で呼びか

したわけではなかつた。ちなみに治安維持法による最大の宗教弾圧は1935年の大本教事件だつた。この弾圧では、本部がダイナマイドで破壊され、約300人が検挙、苛酷な拷問により獄中自殺も含めて獄死者22人を出した。新・治安維持法によるホーリネス教会への弾圧は大本教に次ぐ規模だつた。

①改定治安維持法と宗教弾圧条項

日中戦争の泥沼化と対米英戦争に向けての動きが加速するなか、1941（昭和16）年3月上旬、改定国家総動員法公布、国防保安法公布、そして改定治安維持法（新・治安維持法）公布が相次いで行われた。それまで権力側が拡大解釈で恣意的に運用してきた治安維持法を条文上でも明確にして、新たに宗教弾圧の条文も加えた。それまでも治安維持法で宗教団体を弾圧してきたが、これにより弾圧をいつそう容易にしたのである。

改定治安維持法とホーリネス教会

治安維持法で弾圧された宗教者たち（下）

の牧師96人の一斉検挙から始まり、翌年4月には36人が追加検挙された。容疑にはスペイ問題、神社参拝問題なども含まれていたが、中点はこの教派で強調された「キリストの再臨（復活）と千年王国の実現」の信仰的教義が「国体を否定する」思想と断定されたこと

したわけではなかつた。ちなみに治安維持法による最大の宗教弾圧は1935年の大本教事件だつた。この弾圧では、本部がダイナマイドで破壊され、約300人が検挙、苛酷な拷問により獄中自殺も含めて獄死者22人を出した。新・治安維持法によるホーリネス教会への弾圧は大本教に次ぐ規模だつた。

ホーリネス教会とほぼ同時期にプロテスタント系のセブンデー・アドベンチスト教会も「再臨信仰」問題などで弾圧され、検挙者39人が起訴者30人を出し、3人が獄死した。天皇を絶対化した国家神道を軸に、アジア太平洋戦争を総力戦としていつそ強力に遂行するためのスケープゴートにされたのがこの両教団だつた。

（2）ホーリネス教会の弾圧事件

プロテスタント系キリスト教の一派であるホーリネス教会への、治安維持法違反容疑の一斉検挙が行われたのは1942年6月である。全国のホーリネス系三教会

が行なわれたのは1942年6月で

ある。会場は荒川民

主商工会の会議室を借り、2月26日に開催しました。前日までに参加の確認が取れていたのは10数人でしたが、折込チラシだけでなく事前にDVDも見て複数の参加を決めていたところもあり、想定以上の26人の参加でした。藤田さんの話は本当に気迫があり、熱気には包まれました。その場で呼びか

け人を募ると新たに6人が加わり、早速上映会チラシを作ります。驚いたことが一つ。台東区の居酒屋で落語の独演会があり、その観客に宣伝させてくださいと頼んだら了解されてチラシを渡してきました。そのうちのお一人が来てくださったのです。新しいつながりができました。

映画製作支援と 上映運動は一体のもの

千代子チーム 井藤英治

藤千代子の生涯』製作募金を取り組んできました。このとき使われている「製作」を物作りでもないでの、「制作」の誤りではないかとご指摘を受けることがあります。

これは映画が作られる工程の中で、映画の創作にかかる部分、具体的には、シナリオ、撮影、演出、音楽など、いわゆるアーティストと呼ばれる人が担当する工程を「制作」と呼びます。創作物・

芸術作品としての映画がつくられます。

です。

したがって映画製作はアーティ

ストの制作と非アーティストの製

り組められない人々も大勢関わっ

ています。撮影セットの設営や衣装や小道具の準備、俳優へのメイ

ク担当の仕事は「製作」に分類さ

れています。資金調達にはじまり、マーケティング、宣伝、配給に至る主にお金にかかる一切も「製作」です。

すなわち映画完成後もDVD・ブルーレイの作成・配給、ポスター、チケットの配給、パンフレットの作成・配給などの業務がたくさん残っています。多額の資金が必要

植竹団扇選

抑止力強力な駒第九条

新宿区 阿部俊雄

プーチンさんロシアの民は甘くない

練馬区 中村茂樹

八王子 清水邦治

ウクライナ戦争やめてプーチンさん

足立区 高橋陽子

新聞テレビどこ吹く風のスマホ族

豊島区 藤本増美

赤信号無視し右折の「建国」日

調布市 稲邑明也

食品の値上げ値上げで音を上げる

練馬区 柳沢洋市

ウサギ小屋自宅療養民なり

荒川区 風間秀子

日本守る軍拡でなく9条で

中野区 中嶋育雄

昼のみで閉められる昼飲みの店

团 扇

増本一彦様のご逝去の訃報に接し、心からのお悔やみ申し上げます。いつも「おい、元気か?」と声をかけてくださいました増本さん。つい先日お会いしたばかりでしたから信じられない思いです。治安維持法体制を許さない毅然と闘う姿、その高い意気込みは心を込めてお話される姿にあふれていきました。治安維持法国賠同盟を全国2万人の会員に、治安維持法体制の決着をと訴え続けておられました。増本さんの志を受け継ぎその実現めざし奮闘いたします。心からご冥福をお祈りいたしました。

(会長 吉田万三)

弔電 増本一彦 中央本部会長 家族葬が催されました。

2月6日逝去。85歳。

訃報

松井久雄 元都本部事務局長
2月18日逝去。93歳。199

3年同盟都本部理事。94年常任理事。95年事務局次長。99~2010年まで事務局長。11年から都本部顧問として現在に至る。

故松井久雄さんのご逝去に心から哀悼の意を表します。松井さん

の遺志を継ぎ、45周年にむけさらに大きな同盟建設に取り組みます。(中嶋育雄)



【読者のみなさんの投稿歓迎】